

令和4年度 総合評価方式見直し概要

1 令和4年度の見直し内容

評価項目については、担い手育成・確保を促進する若手技術者や女性技術者の活用の評価拡大等や品質確保，競争性の向上を図ることを目的に見直す。

(1) 対象工事

令和4年度の対象工事は，次のとおりとする。

工 種 等	対象工事
一般土木工事（5千万円～1億3千万円）	全工事
〃（1億3千万円～3億円）	全工事
〃（3億円～WTO）	全工事
海上工事（5千万円～3億円）	全工事
〃（3億円～WTO）	全工事
橋梁上部工（PC）（5千万円～WTO）	全工事
橋梁上部工（鋼橋）（5千万円～WTO）	全工事
建築一式（4千万円～3億円又は公社団地内）	全工事（熊毛，大島を除く）
〃（3億円～WTO）	全工事（熊毛，大島を除く）

(2) 評価項目

令和4年度から評価する項目

- 担い手育成加算の対象者・工種の拡大 **【全工種】**
- 配置予定技術者の工事成績評点の評価 **【一般土木・海上工事】**
- 配置予定技術者の資格保有の見直し **【海上工事】**
- 橋梁上部工（鋼橋）における施工実績等の見直し **【橋梁上部工（鋼橋）】**
- 建築一式工事における企業の表彰実績の追加等 **【建築一式】**

2. 令和4年度から評価する項目の詳細

I 担い手育成・確保の促進

1) 担い手育成加算に女性技術者の評価を追加し、設定工種も拡大

- ・若手技術者の配置⇒若手技術者又は女性技術者の配置

- 条件：①入札公告日における年齢（若手技術者）
②過去5年間に土木部発注の同種工事の施工実績
③上記の成績の最高点が78点以上の者

2) 配置予定技術者の工事成績評点の評価を追加

- ・表彰実績はないが、表彰に準じる成績の者を評価

- 条件：①一般競争入札で発注
②過去3年間の土木一式工事の成績最高点が
表彰基準点以上の工事
③監理技術者，主任技術者，現場代理人（当時1級・2級
土木施工管理技士）として配置された者

考え方：令和元・2・3年度の表彰に準じる者を評価する
各表彰は前年の成績により決定している。

① 令和元年度表彰：平成30年の成績

② 令和2年度表彰：令和 元年の成績

③ 令和3年度表彰：令和 2年の成績

よって，過去3年間とは，

平成30年，令和元年，令和2年とする。

①～③のうち，1件でも基準点以上の成績があれば評価

【全工種】

女性技術者の配置，配置技術者の工事成績

		【現行】	【見直し案】
(1)か(2)を選択 0.5点を上限	(1) ①と②の合計は0.5点を上限	①過去10年間国（九州内） 県の表彰実績 表彰あり（同じ会社）0.5点 表彰あり（別の会社）0.3点	①過去10年間国（九州内） 県の表彰実績 表彰あり（同じ会社）0.5点 表彰あり（別の会社）0.3点
		②担い手加算 40歳未満 0.3点 45歳未満 0.2点	②担い手加算 40歳未満 又は女性技術者 0.3点 45歳未満 0.2点
	(2)	—	<p>③過去3年間の土木一式工事の工事成績の最高点</p> <p>成績あり（同じ会社） 0.3点 成績あり（別の会社） 0.1点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度で82点以上 ・ 令和元年度で82点以上 ・ 令和2年度で84点以上 <p>※橋梁上部工，建築一式工事を除く</p>

Ⅱ 新型コロナウイルス感染症への柔軟な緩和措置

3) 海上工事における資格保有の見直し

- ・令和4年度から「海上工事施工管理技術者」を評価する予定であったが、当該資格の試験日(9/4)は、緊急事態宣言期間中であったことを考慮し、令和5年度からの評価に見直す。

【海上工事】 配置予定技術者の資格保有

【現行】	【見直し案】
配置予定技術者の資格保有 令和3年度 水産工学技士又は 海上工事施工管理技術者 0.5点	配置予定技術者の資格保有 令和3年度 水産工学技士又は 海上工事施工管理技術者 0.5点
令和4年度 水産工学技士 0.4点 海上工事施工管理技術者 0.1点	令和4年度 水産工学技士又は 海上工事施工管理技術者 0.5点
令和5年度 水産工学技士 0.25点 海上工事施工管理技術者 0.25点	令和5年度 水産工学技士 0.4点 海上工事施工管理技術者 0.1点
	令和6年度 水産工学技士 0.25点 海上工事施工管理技術者 0.25点

※試験日が、県内のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言期間内の場合は評価開始の延長を検討する。

Ⅲ 入札の競争性の拡大

4) 橋梁上部工（鋼橋）における施工実績，成績，地域貢献の見直し

県の発注件数が少なく，施工実績企業が限られるため，評価対象を拡大。

- ・ 県内における施工実績を九州内に拡大
- ・ 県の工事成績を県又は国（九州内）に拡大
- ・ 過去5年間ボランティアを1年目から評価
- ・ ホーター事業の活動実績を前年度から当該年度（公告日）まで評価

【橋梁上部工（鋼橋）】 企業の施工実績

【現行】	【見直し案】
過去10年間公共工事の同種工事の <u>県内</u> 施工実績	過去10年間 <u>九州内での国，各県，各政令市，特殊法人又は，県内での市町村の鋼道路橋</u> の施工実績

企業の工事成績

【現行】	【見直し案】
過去5年間 <u>県の鋼構造物</u> の工事成績平均点	過去5年間 <u>九州内での国，各県</u> における鋼道路橋の工事成績（上位3件）平均点

地域貢献

【現行】	【見直し案】
地域への貢献 ①過去5年間ボランティア実績 ②前年度ホーター活動(要営業所) ①及び②の実績 (1.5点) ①または②の実績 (1.0点)	地域への貢献 ①過去5年間ボランティア実績 ② <u>当該年度</u> ホーター活動(要営業所) ①及び②の実績 (1.5点) ①の実績 <u>年数×0.2点</u> (1.0点) ②の実績 <u>(0.5点)</u>

IV 品質確保の向上

5) 建築一式工事における企業の表彰実績の追加，工事成績評価の見直し
公社分譲宅地取得の評価で令和4年度は，1区画取得者のみとなるため
加算点を引き下げる。

また，品質確保の向上を図るため，表彰実績を追加，工事成績加算点
引き上げを図る。

- ・表彰実績： 0.5点
- ・工事成績：2.0点⇒3.0点
- ・地域貢献：5.0点⇒3.5点

企業の表彰実績

【現行】	【見直し案】
—	過去10年間 国（九州内）県の表彰実績 (0.5点)

企業の工事成績

【現行】	【見直し案】
過去10年間 建築一式の工事成績の平均点 83点以上～78点 (2.0点～0点)	過去10年間 建築一式の工事成績の平均点 83点以上～78点 (3.0点～0点)

地域貢献度（4千万円～3億円）

【現行】		【見直し案】	
5.0 点を 上限	住宅供給公社の分譲宅地取得 過去5年間に1区画以上の取得 実績（5.0点）	3.5 点を 上限	住宅供給公社の分譲宅地取得 過去5年間に1区画以上の取得 実績（ <u>1.5点</u> ）
	地域への貢献 ・過去5年間ボランティア実績 ・消防団員雇用		地域への貢献 ・過去5年間ボランティア実績 ・消防団員雇用 ・ <u>応急判定資格者(R5年度予定)</u>
	工事箇所の所在市町村で2つ実績 （2.0点）		工事箇所の所在市町村で2つ実績 （2.0点）
	工事箇所の所在市町村で1つ実績 （1.0点）		工事箇所の所在市町村で1つ実績 （1.0点）
	所管区域内で1つ実績（0.5点） なし（0点）		所管区域内で1つ実績（0.5点） なし（0点）

地域貢献度（3億円～WTO）（JV）

【現行】		【見直し案】	
5.0 点を 上限	住宅供給公社の分譲宅地取得 過去5年間に1区画以上の取得 実績（0～5.0点）	3.5 点を 上限	【代表者及び構成員】 住宅供給公社の分譲宅地取得 過去5年間に1区画以上の取得 実績（ <u>0～3.5点</u> ） ※上限の3.5点まで
	地域への貢献 ・過去5年間ボランティア実績 ・消防団員雇用		【代表者及び構成員】 地域への貢献 ・過去5年間ボランティア実績 ・消防団員雇用 ・ <u>応急判定資格者(R5年度予定)</u>
	工事箇所の所在市町村で2つ実績 （1.5点）		工事箇所の所在市町村で2つ実績 （1.5点）
	工事箇所の所在市町村で1つ実績 （1.0点）		工事箇所の所在市町村で1つ実績 （1.0点）
	所管区域内で1つ実績（0.5点） なし（0点）		所管区域内で1つ実績（0.5点） なし（0点） ※上限の3.5点まで